



～信頼されるライフラインを目指して～ 第5次拡張事業 佐野浄水場竣工式

市では、安全な水道水を安定して送りつづけるため、水源の安定化、老朽施設の更新、水質対策の強化に取り組み、上水道第5次拡張事業（豊岡給水区）として佐野浄水場の改築工事を行った。

この佐野浄水場改築工事の完成、供用開始にあたり、竣工式を開催する。

1. 竣工式概要

(1) 日時 3月25日(木) 午前10時30分～午前11時30分
午前10時から施工業者による神事が行われる。

(2) 場所 佐野浄水場 新管理棟前

(3) 内容

竣工セレモニー
テープカット、中央監視装置起動など
施設見学
膜ろ過装置デモンストレーションなど

(4) 主催

豊岡市

2. 新佐野浄水場の主な特長

病原性微生物クリプトスポリジウムを確実に除去できる膜ろ過処理の採用
浸せき式膜ろ過施設 1としては、国内最大規模（最大処理水量 30,000 m³/日）
膜ろ過処理の採用による薬品（凝集剤）使用量の低減
既設コンクリート水槽（沈殿池）の再利用による建設費と建設廃棄物の削減
水位差利用のろ過処理によるポンプ運転の省力化
太陽光発電設備の設置による自然エネルギーの有効利用
管理棟室内照明等の電力として使用

- ・種類 アモルファスシリコン太陽電池
- ・数量 n=136 枚（990 × 990 × 40 mm）
- ・合計容量 8 kVA/h（皮相電力：見かけ上の電力）
= 5.84kW/h（有効電力：実際に使用できる電力）
標準家庭用約 2 軒相当分

<参考>

上水道第5次拡張事業（豊岡給水区）

(1) 経緯

旧豊岡市の上水道は、大正11年に給水を開始して以来88年となり、これまで4次にわたる拡張事業を実施し、増大する水需要に対応してきた。

佐野浄水場の取水・浄水施設の主なものは、昭和40年代前半から50年代



後半にかけて集中的に建設されたものである。この浄水場を将来にわたって安定給水を確保していくため、第5次拡張事業として取水地点の変更と老朽化した施設の更新を平成15年度から進めてきた。

(2) 取水地点の変更

平成18年6月に、円山川の佐野取水を約4キロ上流の中郷へ変更した。

これにより、夏場の渇水期における潮水遡上などによる水源の不安定な状況が解消された。

(3) 老朽化した施設の更新

佐野浄水場の改築は、平成18年の土木・建築工事着手に始まり、今年3月には機械・電気工事が完成する。また、浄水場内の整備を残しているが、12月の完成を目指し工事を進めている。

(4) 事業概要

事業期間 平成15年度～平成22年度

総事業費 約64.2億円

工事内容

平成15～17年度	取水地変更(佐野 中郷) 満州井戸 7,000 mm N=2 基
平成15～17年度	導水管布設工事(中郷～佐野) 600 mm L=3,800m
平成18～20年度	浄水施設(土木・建築)工事 管理棟、機械設備棟、膜ろ過棟、送水ポンプ棟等
平成19～21年度	浄水施設(機械・電気)工事 浄水能力 20,000 m ³ /日(最大 30,000 m ³ /日) (浸せき式膜ろ過設備6ユニット×4系列) 受電設備、遠方監視装置、太陽光発電設備等
平成21～22年度	浄水場内整備工事 土工、排水工、旧施設撤去工、修景工等